

【4段階評価 A(4)=そう思う B(3)=だいたいそう思う C(2)=あまりそう思わない D(1)=そう思わない】

○ 学力の向上

| 重点目標 | 目標達成のための 努力実践事項 | 学校の自己評価コメント (○●は職員の考察、◇◆は児童・保護者アンケートから) | 自 己 評 定 | | 関係者 評 定 | 学校関係者コメント |
|---|--------------------------------|---|------------|-----|------------|---|
| ◎ 児童の学力向上と 職員の授業力向上 に努める。 | 校内研究で「ICT を活用し た授業改善」に取り組む。 | ○A・B 評価(職員100%) ○児童も教師も一人一台端末を進んで活用し授業を進めることができる。 ○根拠をもって自分の意見や考えを表現する力の育成に重点を置き、相互的な 学習の時間や生活科の時間を中心に授業改善に取り組んできた。 ◇A・B 評価(児童96% 保護者84%) | 3.5 | 3.4 | 3.9 | ○ ICT を低学年から授業 に活用し、遠方の学校と の交流や学習に活かさ れている。 ○ 子どもたちのタブレット 学習がすごい。 ○ キュビナの第1回 Q-I グランプリで Q-I マスタ ーズになるなど力を付け ている。 ○ これからも少人数の良 さを生かして欲しい。 ●タブレットも大事だが、紙 に書いたり、辞書を引い たりする活動を大切にし て欲しい。 |
| ◎ 学習内容の確実 な定着を図り、学力 テスト等で全国平 均を上回る。 | 授業の中で習熟の時間やま とめる時間を設定する。 | ○A・B 評価(職員100%) ○全学調(6年)平均正答率、全国比 国語…+20.3 算数…+14.6 ○隔週で「マスタertime」を設定し、読解力を高める「αドリル」を中心に全校 で取り組んでいる。 ◇A・B 評価(児童100% 保護者84%) ◆単元テストの早い返却を希望する。子どもの学力向上のためにもその都度把 握していきたい。 | 3.4 | | | |
| ◎ 年間全校平均図 書貸出冊数100冊 以上を達成し、児童 が読書に親しんで いると実感できるよ うにする。 | 学びの礎となる読書活動を 推進する。 | ○A・B 評価(職員100%) ○読書週間の設定や図書館サポーターとの連携によるイベントの開催、くれよ ん号の利用促進、ボランティアによる読み聞かせを実施している。 ●現在の児童貸出冊数は40冊強である。(1～3年平均は約87冊) ◇A・B 評価(児童81% 保護者89%) | 3.2 | | | |
| ◎ 家庭学習の習慣 化を図る。 | 家庭学習の習慣化に向け保 護者の協力を得る。 | ○A・B 評価(職員100%) ○家庭学習ががんばり週間やタブレット持ち帰り等の取組を行っている。多くの児 童が家庭学習をきちんと行っている。 ◇A・B 評価(児童93% 保護者95%) ◆宿題プリントは家庭で丸付け、やり直しをして提出しているが、学校で保管さ れているのだろうか。 | 3.5 | | | |
| 《課題と改善点》 ○ ICT 活用能力が高まってきている。複式指導の中で、児童が主体的に学習を進められるように授業改善と研修を深める必要がある。 ○ 家庭での学習や読書の習慣化について、検討する必要がある。 | | | | | | |

【4段階評価 A(4)=そう思う B(3)=だいたいそう思う C(2)=あまりそう思わない D(1)=そう思わない】

○ 豊かな心の育成

| 重点目標 | 目標達成のための 努力実践事項 | 学校の自己評価コメント (○●は職員の考察、◇◆は児童・保護者アンケートから) | 自 己 評 定 | | 関係者 評 定 | 学校関係者コメント |
|---------------------------|---------------------------------|--|------------|-----|------------|---|
| ◎ 全児童が「学校が楽しい」と言えるようにする。 | 思いやりの心や温かい人間関係の醸成に努める。 | ○A・B 評価(職員100%) ○管理職や養護教諭を含めた全職員で教育相談を行い、いじめ不登校対策委員会で、情報交換や共通理解を図っている。いじめ認知件数0。 ○道徳や学級活動を通した指導を行うだけでなく、日常指導に各先生方が連携を図りながら取り組んでいる。 ◇A・B 評価(児童96% 保護者89%) ◇児童が夏尾小の良さとして「下級生から上級生まで仲が良い」「みんな優しい」ことなどを挙げている。 | 3.5 | 3.4 | 3・9 | ○毎朝、ボランティア活動に取り組む児童の様子を見ている。あいさつも元気にも自ら行ってくれる。 ○各児童が、夏尾小は恵まれていることを自覚させられると良い。 ○外の世界に出たときに、物怖じせず、自信をもって力を発揮して欲しい。 ○スクールカウンセラーが導入されて良かった。活用がもっと図られると良い。 ○挨拶は大事。 |
| ◎ 自信をもって人生を生き抜く基礎力を育てる。 | 児童の自己肯定感を高める活動や環境を整備する。 | ○A・B 評価(職員100%) ○全校帰りの会で、お互いの良いところを伝え合う場を設定している。 ◇A・B 評価(児童100% 保護者89%) ◇児童が夏尾小の良さとして「人数が少ない分、一人一人が主役になれる」と活躍の場があることなどを挙げている。 | 3.6 | | | |
| ◎ 気持ちのよい挨拶や返事ができる児童を育成する。 | 集会や日頃の指導で、挨拶や返事について児童への意識付けを行う。 | ○A・B 評価(職員100%) ○登校後の職員室へ挨拶が習慣化している。また、正門横での小中合同の挨拶運動だけでなく、計画委員会が企画したあいさつ運動にも主体的に取り組んでいる。 ◇A・B 評価(児童100% 保護者84%) | 3.3 | | | |
| ◎ 児童のボランティア精神を培う。 | 身近な環境整備など、自らできることを実践するよう働きかける。 | ○A・B 評価(職員100%) ○登校後、上級生が下級生をリードしながら、砂利道の目立てや落ち葉掃きなどのボランティア活動に主体的に取り組んでいる。 ◇A・B 評価(児童85% 保護者95%) | 3.3 | | | |

《課題と改善点》

○全職員による教育相談や、児童同士の良さを認め合う全校帰りの会など、豊かな心の育成に効果のある取組を継続していく。

○計画委員会企画のあいさつ運動など主体的な取組を称賛することで、児童の自発的な活動を促していく。

○挨拶とともに返事の指導にも力を入れていく。

【4段階評価 A(4)=そう思う B(3)=だいたいそう思う C(2)=あまりそう思わない D(1)=そう思わない】

○ 健康・安全

| 重点目標 | 目標達成のための 努力実践事項 | 学校の自己評価コメント (○●は職員の考察、◇◆は児童・保護者アンケートから) | 自 己 評 定 | | 関係者 評 定 | 学校関係者コメント |
|---|--|---|------------|-----|------------|--|
| ◎ 児童一人ひとりの 体力向上に努め、学 校平均を県平均に 近づける。 | 体力向上プランに基づき、体 育の時間の運動量の確保と 体力向上のための指導を継 続して行う。 | ○A・B 評価(職員80%) ○体育学習では、小規模の良さを生かし運動量が確保されている。また、全 学年合同で実施することで系統的に学習できる。 ○体力テストA 判定 5 名であった。 ●5・6 年生が朝の会で取り組んでいる「元気もりもり体操」を他の学年にも 広げていきたい。 ◇A・B 評価(児童81% 保護者84%) | 3.4 | 3.4 | 3.7 | ○体力をつけさせて欲しい。体を思いっきり動か せると良い。そうすれば早 く寝ることができるので はないか。 ○早く寝られない原因が、 テレビからスマホに移っ てきているのではない か。 ○ スマホとの使い方につ いては、親がお手本にな ると良い。(寝る前や食事 中に触らないなど。) |
| ◎ 健康・安全意識の 向上と食育の推進 を図る。 | 毎日の健康チェックと早寝・ 早起き・朝ごはん、健康・安 全・食育について家庭との連 携を図る。 | ○A・B 評価(職員100%) ○毎日の健康チェックや定期的な保健だよりや食育だより、お弁当の日の取 組等を通じて家庭との連携を図っている。 ○学校保健委員会で「親子ヨガ」に取り組み、家庭へ啓発した。 ◇A・B 評価(児童89% 保護者74%) | 3.2 | | | |
| ◎ 児童の事故を未然 に防ぎ、命を守る。 | 避難訓練を充実させ、定期 的な安全点検や児童への安 全指導を確実にを行う。 | ○A・B 評価(職員100%) ○噴火・地震・不審者・火災に対応する避難訓練を行い、非常時の対応の在 り方を確認している。噴火対応の避難訓練では、御池自然の池の方に説明 を頂いた後に、保護者への引き渡し訓練を実施した。 ○年度当初の地震の際にも、自ら身を守る行動ができていた。 ○児童の事故防止のために、樹木の伐採や掲揚台の修理を早期に対応し、 完了した。 ◇A・B 評価(児童100% 保護者95%) ◆災害(噴火、台風、地震等)時の地形の特徴を含め、夏尾小へ向かうルート 確認を保護者も防災士などから学ぶ時間があるとよい。 | 3.6 | | | |
| 《課題と改善点》 ○本年度作成したスクールスポーツプランに基づいた体育学習を進める。 ○5・6 年が朝の会で取り組んでいる「元気もりもり体操」を他学年にも広げる。 | | | | | | |

○ ふるさと教育

| 重点目標 | 目標達成のための 努力実践事項 | 学校の自己評価コメント (○●は職員の考察、◇◆は児童・保護者アンケートから) | 自 己 評 定 | | 関係者 評 定 | 学校関係者コメント |
|--|--|---|------------|-----|------------|---|
| ◎ 夏尾らしさを生かして、魅力ある学校づくりをめざす。 | 地域の素材や人材を使った体験学習を工夫し、地域の方とふれあえる場を位置づける。 | ○A・B 評価(職員100%) ○オープンスクールや体験事業を通じて、地域の方々と交流の機会を設けることができた。 ◇A・B 評価(児童100% 保護者95%) ◇児童が夏尾小の良さとして「自然が豊かである」「地域の方と交流できる機会がたくさんある」「地域の方や保護者と活動できる」ことを挙げている。 ◇地域の方にもお世話になり、素晴らしい教育をさせていただいている | 3.8 | 3.7 | 3.9 | ○行事には地域の方も多き参加して、子ども達も楽しそうに参加している。 ○大人との交流が多いのは他の学校にはない魅力である。 ○運動会や文化祭での子ども達の奴踊り披露や生演奏が良かった。 ○披露の場が増えても良い。 ○心豊かに育って欲しい。 ○HPは全国6番目に始めており、伝統が。 |
| ◎ 伝統芸能『奴踊り』を継承する。 | 発表の場で、児童が自信をもって踊れるように練習指導を行う。 | ○A・B 評価(職員100%) ○運動会や、御池やまびこ祭、西岳地区ふれあい文化祭で奴踊りを披露することができた。三味線の演奏に保護者の有志が参加するなど、伝統芸能を継承する体制ができています。 ◇A・B 評価(児童100% 保護者95%) | 3.7 | | | |
| ◎ コミュニティ・スクールとして、より良い学校づくりをめざす。 | 学校からの情報発信に努めるとともに、学校運営協議会をはじめ、地域の方や保護者の意見を聞く場を大切にする。 | ○A・B 評価(職員100%) ○学校便りや学級通信、ホームページを通して、学校の取組や子どもたちの様子を可能な限り発信してきた。 ◇A・B 評価(児童100% 保護者84%) | 3.6 | | | |
| 《課題と改善点》 ○ 引き続き、地域の豊かな環境や人材、歴史や文化等を活かした教育活動を行うとともに、その取組を積極的に発信していく。 | | | | | | |